# SeACD 2

建築設備設計基準 令和6年版 対応バージョン

利用開始方法と変更・追加点

2025 年 6 月 株式会社イズミコンサルティング 目次

利用開始方法と変更・追加点 1
目次2
はじめに - SeACD 2 をご利用中のお客様へ 3
ご利用開始方法
アップデート
旧バージョンで作成されたデータの再利用
令和3年版で作成したファイルをそのまま使用する手順4
平成 30 年版で作成したファイルを開く手順 5
新バージョンでの変更点
選択可能な建築設備設計基準の変更6
新規作成の場合6
旧バージョンで作成したデータを開く場合7
ナビゲーションバーの制御7
建物概要の画面表示7
ナビゲーションボタンの有効化条件
長さ、面積、体積における小数点以下入力桁数の変更9
空調機器の追加9
STABRO 負荷計算データのインポート10
STABRO 負荷計算 令和 6 年版で作成したデータのインポート11
STABRO 負荷計算 令和 3 年版で作成したデータのインポート11
負荷確認画面の TSV・CSV インポート機能廃止12
STABRO 負荷計算 令和 6 年版エクスポート12
旧ファイルのインポート13
おわりに14



-

## はじめに - SeACD 2 をご利用中のお客様へ-

SeACD 2は、2024年8月発行の『建築設備設計基準令和6年版』改正に対応いたしました。

SeACD 2 をご契約中のお客様は、ソフトをアップデートしていただくことで、令和 6 年版に対応したバージョンをご利用 いただけます。

本ドキュメントでは、SeACD 2 新バージョン(令和 6 年版対応)の利用開始方法と、ソフトの変更・追加点をご紹介いたします。

## ご利用開始方法

アップデート

SeACD 2 新バージョン(令和 6 年版対応<sup>※</sup>)は、更新プログラムを適用していただくことでご利用が可能です。新ソ フトのインストールは不要で、通常の更新時と同様にアップデートインストーラー(msi ファイル)をダウンロードおよび実 行し、ソフトを更新してください。

- ※ Ver.2.0.500 以降のバージョンを指します。 以降、本ドキュメントでは Ver. 2.0.281 以前を旧バージョン、Ver. 2.0.500 以降を新バージョンと呼びます。
  - ~Ver. 2.0.281 : 旧バージョン Ver. 2.0.500~ : 新バージョン



### 旧バージョンで作成されたデータの再利用

旧バージョンで作成したデータを新バージョンで使用するには、次の3通りの方法があります。

旧バージョン	新バージョン
令和3年版で作成	令和6年版に変換して使用
	そのまま使用
平成 30 年版で作成	令和3年版に変換して使用

詳細な手順は次ページのとおりです。

令和3年版で作成したファイルを令和6年版に変換する手順

- 1. 物件データを開く
- 2. ファイル > 変換 > 建築設備設計基準を開く
- 3. 令和6年版を選択

		■定基準のN値 1000000000000000000000000000000000000
新規	建築設備設計基準	◆ 令和3年版
開く	● ●荷計算方法	12/100-1/06
上書き保存	電源周波数	
名前を付けて保存		
<b>☆</b> 換	,	
50時 []		青造 □ 木造 □ その
→ 帳票出力		階数 培屋:

令和3年版で作成したファイルをそのまま使用する手順

- 1. 物件データを開く
- ⇒ そのままご利用いただけます。



.....

平成 30 年版で作成したファイルを開く手順

ソフトをアップデート後、平成 30 年版データをそのままご利用いただくことはできなくなります。 以下手順で自動的に<mark>令和 3 年版に変換</mark>されますので、ご留意のうえご利用ください。

- 1. 物件データを開く
- 2. 以下のメッセージが表示



3. 「はい」をクリック

※「いいえ」をクリックすると、データを開かずに SeACD2 を終了します。

#### 備考

平成 30 年版のまま使用する場合は、SeACD 2 を一度アンインストールし、Ver. 2.0.281 の再インストールが必要です。

Ver. 2.0.281 は以下ページにて、「建築設備設計基準 H30・R3 版」 – 「フルインストーラー」として公開されております。

クリックしてダウンロードし、圧縮 ZIP ファイルを解凍(展開)してご利用ください。

https://izumidl.sixcore.jp/downloads/seacd2/seacd\_2\_dl.html



## 新バージョンでの変更点

新バージョンでは、以下の項目を変更しました。

#### 選択可能な建築設備設計基準の変更

選択可能な建築設備設計基準を、以下のとおり変更しました。

	旧バージョン	新バージョン
令和6年版	×	0
令和3年版	0	0
平成 30 年版	0	×

ご利用方法は次のとおりです。

#### 新規作成の場合

設計基準画面の建築設備設計基準で、令和6年版と令和3年版が選択できます。

#### ※平成 30 年版の選択肢は廃止

設計基準							
建築設備設計基準:							
	○ 令和3年版						
	※新しい年度から古い年度へは変更できません。						
負荷計算方法:	<ul> <li>① 簡易計算 (㎡当たり直接入力)</li> <li>※②へは変更できません。</li> </ul>						
	<ul> <li>② 簡易計算(構造体、ガラス日射直接入力)</li> <li>※①へは変更できません。</li> </ul>						
	<ul> <li>③ 詳細計算 (負荷計算ソフトを使用)</li> <li>※①、②へは変更できません。</li> </ul>						
電源周波数:	● 50Hz						
	O 60Hz						
	※機器入力後は変更できません。						



#### 旧バージョンで作成したデータを開く場合

#### 《令和3年版を選択していたデータ》

そのまま開きます。 令和6年版に変換する場合は「

令和3年版で作成したファイルを令和6年版に変換する手順」をご参照ください。

#### 《平成 30 年版を選択していたデータ》

確認メッセージを表示後、令和3年版に変換されて開きます。(平成30年版のまま開くことはできません。) 操作については、「<u>平成30年版で作成したファイルを開く手順</u>」をご参照ください。 平成30年版データを編集する場合は、上記項目の備考をご参照ください。

ナビゲーションバーの制御

建物概要の表示画面と各ナビゲーションバー(画面左側のメニュー)の有効化条件を変更しました。

#### 建物概要の画面表示

建物概要をクリックした際、入力項目がメインウィンドウに表示されるようになりました。

旧バージョン

⇒ 別ダイアログウィンドウで表示 61 63 Norm 63 -1 表示列 (米全て 建わらり サンプル建物 東京都新協区連場和 100 105.3.7 単規所 図 鉄筋コン 建物構造 -----0.040 N - 人当たりの 占有回後 [en<sup>2</sup>] MR HL 8 🗿 REL H 1 NO. 48 1770-1770-88971-88 10.0.00 1289 34.2 56.3 26.8 83.8 1489 34.7 53.5 26.7 83.1 987 31.8 64.1 26.1 81.0 33.5 58.1 26.5 82.7 0.0191 1.8 40.1 -1.9 6.1 -ARRE -進加・編集... - 宣告新規行成し 11日ほうて、 [56] 45.0 A1 -0 001171-0-※無数点の探索をいった」ます 展量-静压( 出力语: ○ 設計風量・時圧 ● 機能仕様 ※換気機器表に出力する取得を選げ -€ 10 ○ 50 ○ 100 ※読売量を自動設定する際の切り上げ値です。

<u>新バージョン</u>

⇒ 他メニューと同様、メインウィンドウに表示

1 D 2 10000 ONE 01 1730-0 7 -11 -E .... 用数 塔蘭 163¥ 24.6 82.5 22.4 65.8 1207 25.5 77.0 22.5 66.2 P 1439 25.5 77.1 22.5 66.2 -9.9 74.6 -10.7 -7.0 . B 追加・編集。 ※宝を新規作成し 初期値です。 A . 13 A1 -○ 取計風量・時日 ● 務務仕様 回換気機器表に出力する数値 -0 10 0 50 \* 100 ※検知識を自動設定する際の切り上げ座です。



#### ナビゲーションボタンの有効化条件

必須項目を入力後に次のステップにお進みいただくため、ナビゲーションボタンの有効化条件を見直しました。変更箇所 は次のとおりです。

#### 《諸元入力》



建物概要画面にて、地上・地下問わず1階以上の階数を設定すると、諸元入力が入力可能になります。

	件名:							
建初酰 <del>发</del>	建物名称:							
→	所在地:							
諸元入力 ※	建物用途:							
	建物構造:	□ 鉄筋コンクリート造 □	鉄骨鉄筋コンクリート造 🗌 鉄骨油	き 🗌 木造	🗌 その他			
換気機器設計	階数 地上:	1 🛉 階数 🖞	地下: 0 🔺	皆数 塔屋:	0	*	※地上最大	100階、地下最
Ŷ								
<u><u>v</u>==</u>	延べ床面積:	m²						
↓	延べ床面積: 設計用屋外条件:	m² 稚内 v				冷房		
t →→→ I770- ∀	延べ床面積: 設計用屋外条件:	m² 稚内 ~ 追加・編集		日最高	9時	冷房 12時	14時	16時
び →→→→ I7770 ※ 使見グクレビジャな	延べ床面積: 設計用屋外条件:	m²       稚内     ~       追加・編集	乾球温度 [°C]	日最高 25.7	9時 24.7	冷房 12時 25.5	14時 25.5	16時 24.6
で → ○ → エアフロ- ※ 簡易ダクト抵抗 ※	延べ床面積: 設計用屋外条件:	m² 稚内 ~ 追加·編集	乾球温度 [°C] 相対湿度 [%]	日最高 25.7 -	9時 24.7 80.6	冷房 12時 25.5 77.0	14時 25.5 77.1	16時 24.6 82.5
び ・ アフロ- ※ 簡易ダクト抵抗 ※	延べ床面積: 設計用屋外条件:	m <sup>2</sup> 稚内 追加•編集	乾球温度 [°C] 相対湿度 [%] 湿球温度 [°C]	日最高 25.7 - -	9時 24.7 80.6 22.2	冷房 12時 25.5 77.0 22.5	14時 25.5 77.1 22.5	16時 24.6 82.5 22.4

#### 《換気機器設計以降》

諸元入力画面にて、一室以上の室情報を入力すると、換気機器設計以降(換気機器設計/エアフロー/簡易ダクト抵抗/換気機器選定/負荷確認/空調機器選定/CAD 出力プレビュー/帳票出力)が入力可能になりま





## 長さ、面積、体積における小数点以下入力桁数の変更

長さ、面積、体積の各値について、小数点以下入力桁数を変更しました。

展注	令和 3	年版		令和 6 年版			
₩1⊻	入力桁数	ß	<b>7</b> ]	入力桁数		例	
m	小数点以下 2 桁	階高 3.50		小数点以下 3 桁	階高	3.50 <mark>0</mark>	
		天井高	3.00		天井高	3.00 <mark>0</mark>	
m²(平米)	小数点以下1桁	床面積	48.0	小数点以下 2 桁	床面積	48.0 <mark>0</mark>	
m³(立米)	小数点以下1桁	室容積	144.0	小数点以下 2 桁	室容積	144.0 <mark>0</mark>	

空調機器の追加

建築設備設計基準令和6年版に掲載されている空調機器を追加しました。

空調系統の新規作成 > システムメーカー から「建築設備設計基準 令和6年版」をお選びいただけます。

システムメーカー:	*	※本ソ
/ 449.496.185.185.	建築設備設計基準 令和6年版	en v-t
19党省百代黑大党。	ダイキン工業	1 ^ /
カタログ年月:	三菱電機	
字外機システル・	三菱重エサーマルシステムズ	-
王/103/7/14.	日立グローバルライフソリューションズ	
	Panasonic	
	日本キヤリア	



## STABRO 負荷計算データのインポート

ファイル > インポートメニューに「STABRO 負荷計算 R6 ファイル(issal7)のインポート」を追加しました。 既存の「STABRO 負荷計算 R3 ファイル(issal6)のインポート」も引き続きお使いいただけます。 作成中のデータにより、使用可能な機能およびデータが異なりますので、詳細は以下をご確認ください。

	STABRO 負荷計算	
建築設備設計基準	インポートメニュー	物件データ
令和6年	STABRO 負荷計算 R6 ファイル(issal7)のインポート	.issal7
令和3年	STABRO 負荷計算 R3 ファイル(issal6)のインポート	.issal6

いずれの場合も、以下のデータがインポートされます。

- · 建物概要
- · 設計用屋外条件
- 諸元情報
- 負荷計算結果※
- ※ 旧バージョンでは別途負荷確認画面で取り込んでいましたが、本インポート機能により一括で取込可能になりました。



STABRO 負荷計算 R6 ファイル(issal7)のインポートでは、弊社 STABRO 負荷計算 令和 6 年版で作成したデー タをインポートすることができます。拡張子「.issal7」のデータが取込可能です。

ファイル・インポート

#### 建築設備設計基準

⇒令和6年版を選択している場合

設計基準	×
建築設備設計基準:	④ 令和6年版
	○ 令和3年版
	※新しい年度から古い年度へは変更できません。
負荷計算方法:	○ ① 簡易計算 (㎡当たり直接入力)
	※②へは変更できません。
	○ ② 簡易計算 (構造体、ガラス日射直接入力)
	※①へは変更できません。
	● ③ 詳細計算 (負荷計算ソフトを使用)
	※①、②へは変更できません。
電源周波数:	● 5 <mark>0</mark> Hz
	○ 60Hz
	※機器入力後は変更できません。
	OK キャンセル

⇒R6 ファイル(issal7)のインポートが使用可能 新規 STABRO負荷計算 R6 ファイル(issal7)のインポート 二 開< STABRO負荷計算 R3 ファイル(issal6)のインポート 上書き保存 諸元CSV・TSVファイルのインポート 名前を付けて保存 MEL-BIM出力データのインボート \*日 <sub>変換</sub> 日バージョンファイルのインポート □ 閉じる → 帳票出力 エクスポート , オブション 「□
10 バージョン情報 ★ 終了

STABRO 負荷計算 令和 3 年版で作成したデータのインポート

STABRO 負荷計算 R3 ファイル(issal6)のインポートでは、弊社 STABRO 負荷計算 令和 3 年版で作成したデー タをインポートすることができます。拡張子「.issal6」のデータが取込可能です。

※ 既存機能の取り込み対象に負荷計算結果が追加されました

#### 建築設備設計基準



#### <u>ファイル-インポート</u>

⇒R3 ファイル(issal6)のインポートが使用可能

$\square$	新規		<u>ም</u>	STABRO負荷計算 R6 ファイル(issal7)のインボート
<u>6</u>	開く		2	STABRO負荷計算 R3 ファイル(issal6)のインポート
•	上書き保存		<u>ዓ</u> ን	諸元CSV・TSVファイルのインポート
ļ.	名前を付けて保存		ዮ	MEL-BIM出力データのインポート
<b>~</b> □	変換	,	ን	旧バージョンファイルのインボート
8	閉じる			
•	帳票出力			
\$	エクスポート	,		
4	インポート	•		
Ф	オプション			
1.0	バージョン情報			
x	終了			



負荷確認画面の[STABRO 負荷計算 TSV ファイルのインポート]は先述のインポート機能に統合し、ボタンは廃止いたしました。また、[汎用負荷計算 CSV ファイルのインポート]も廃止いたしました。

旧バージ	ョン	, -									新	バージョン	
	10	マスポート STABRC	負荷計算ファ	インボート 1ル	Maka SV	ファイル	通訊		SVJ71	I	D	新規	STABRO負荷計算 R6 ファイル(issai7)のインボート
→				室情報	L .			-			\$	開く	STABRO負荷計算 R3 ファイル(issal6)のインポート
諸元入力		階	室番号	<sup>室会</sup> インポー	, <sub>安面積</sub>	空調室	9時	<sup>照熱」</sup>	wj 4時	冷 16時	•	上書き保存	協元CSV・TSVファイルのインボート
換気機器設計	1	B1F	B101	電気室 統合し	て廃	IE	1,000	2,000	1,200	3,000	ļ.	名前を付けて保存	MEL-BIM出力データのインポート
τ <b>∷</b> :	2	B1F	B103	中央監視室	00.54	~	1,000	2,000	1,200	3,000	¢⊓	÷44	(A)
→ → → I770-	3	B1F	B104	清掃貝控至 EV(太	28.30	✓	1,000	2,000	1,200	3,000		変換 •	1日バーション ファイルのインホート
V	5	1F	101	±vπ-ν カフτ	170.00	▼	1.000	2.000	1.200	3.000		閉じる	メニュー > インポートに移動
	6	1F	102	厨房	56.00	<b>v</b>	1,000	2,000	1,200	3,000			
V£26172206080 ∀	7	1F	103	エントランス	298.42	$\checkmark$	1,000	2,000	1,200	3,000		帳票出力	
S)	8	1F	104	風除室	26.56	$\checkmark$	1,000	2,000	1,200	3,000	6	エクスポート・	
換気機器選定	9	1F	105	EVホール	81.62	✓							
EL.	10	2F~7F	201~701	事務室1	221.28	✓	1,000	2,000	1,200	3,000	4	インボート・	
	11	2F~7F	202~702	事務室2	329.83	✓	1,000	2,000	1,200	3,000	-		
V	12	8F	801	事務室1	221.28	$\checkmark$	1,000	2,000	1,200	3,000	102	オブション	
											10	バージョン情報	
											×	終了	

STABRO 負荷計算 令和 6 年版エクスポート

負荷確認画面の[STABRO 負荷計算ファイルのエクスポート]を廃止し、ファイル-エクスポートに移動いたしました。

新バージョン

#### 旧バージョン

=	エク	マポート		インポート									
Ⅲ 建物概要	ⓑ STABRO美荷註夏ファイル 涵 STABRO負荷計算TSVファイル					ファイル					D	新規	<ul> <li>STABRO負荷計算 R6 ファイル(ssai6)のエクスポート</li> <li>STABRO負荷計算 R3 ファイル(ssai6)のエクスポート</li> </ul>
<b>→</b>		室情報									2	開く	
諸元入力 ※		階	- 「番号	室名	A 室面積	空調室		顕熱	[W]		•	上書き保存	MEL-BIM入力データのエクスポート
		<b>!</b>	発止		[m²]		9時	12時	14時	16	į.	名前を付けて保存	
換気機器設計	1	B1F	B101	電気室	69.79	$\checkmark$	1,000	2,000	1,200	3			メニュー > エクスポートに移動
¥	2	B1F	B103	中央監視室	80.34	$\checkmark$	1,000	2,000	1,200	3	"	変換 🕨	
\$ \$	3	B1F	B104	清掃員控室	28.30	$\checkmark$	1,000	2,000	1,200	3	×.	88117	
1770-	4	B1F	B107	EVホール	80.80	✓						閉じる	
	5	1F	101	カフェ	170.00	~	1,000	2,000	1,200	3	Þ	帳票出力	
御見びたいがな	6	1F	102	厨房	56.00	~	1,000	2,000	1,200	3	6		
₩ 10:00:00:00:00:00:00:00:00:00:00:00:00:0	7	1F	103	エントランス	298.42	✓	1,000	2,000	1,200	3	5	エクスポート・	
G!	8	1F	104	風除室	26.56	•	1,000	2,000	1,200	3	6.		
換気機器選定	9	1F	105	EVホール	81.62	$\checkmark$					9	インボート・	
¥	10	2F~7F	201~701	事務室1	221.28	$\checkmark$	1,000	2,000	1,200	3	10	オブション	
	11	2F~7F	202~702	事務室2	329.83	✓	1,000	2,000	1,200	3	244		
負荷確認	12	8F	801	事務室1	221.28	✓	1,000	2,000	1,200	3	v.1.0	パージョン情報	
											x	終了	



### 旧ファイルのインポート

SeACD (.isscd ファイル)の案件データのうち、建築設備設計基準 H30 年版以前で作成された案件データはインポートできなくなりました。

OK





## おわりに

SeACD 2 新バージョン(令和 6 年版対応)の利用開始方法と変更・追加点についてご紹介いたしました。さらに 便利にお使いいただけるよう、より一層品質の向上に努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

